

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

◆VCN°37 シャトー・ド・プラド

生産地方：ボルドー

新着ワイン 1 種類♪

ACコート・ド・ボルドー・カスティヨン樽熟 2014

2014 年は、2013 年が雹の被害でブドウが全滅だった分、その反動で久しぶりの豊作に恵まれた年！だが、ミレジムのには雨が多く最後まで予断の許さない難しい年だった。幸い、病気に当たったブドウは早くから乾き落ち、残ったブドウひとつひとつはエキスが集中し、さらに9月に天候が回復したおかげで、最終的に2010年のようなエレガントで骨格のはっきりとしたワインが出来上がった！ボルドーの樽熟ワインらしい甘い果実の風味にじわっと広がる酸と柔らかなタンニンが複雑なアクセントを奏でる！ベルナル曰く、2014年は酸がしっかりとあるので、長熟に耐えることができるだろうとのこと！2014年のコストパフォーマンスはボルドー全体で見てもそうはない筈だ！

ミレジム情報 当主「ベルナル・フルニエ」のコメント

2014年は、最後の最後に好天に恵まれ、最終的に質量ともに満足の行く当たり年となったミラクルなミレジム！冬は暖冬で霜の被害はなく、ブドウの発芽が例年よりも早かった。そのまま春も温かさを継続し、雨もほとんど降らなかった。6月に入り天候に陰りが見え始め、開花時期に雨が降った影響でカベルネ・ソーヴィニオン、カベルネフランに少し花ぶるいが見られた。7月に入り天候はさらに悪化…雨が多く気温の上がない日が9月頭まで続いた。ブドウの成長にブレーキがかかり、8月の下旬になってもヴェレゾンが始まらない悪夢に悩まされた。9月に入り天候は一転、まるで遅れて夏が来たように暑さと太陽が戻ってきた！この9月の夏のような天候のおかげで、ブドウはどうか完熟までたどり着くことができた！

「ヨシ」のつ・ぶ・や・き

2014年、2015年と収量が取れたことで、2013年の全滅で負った経営ダメージから何とか払拭しつつある！プラドのスゴイところは、周りが毎年ワインの価格を急ピッチで上げる中、ほとんど価格が変わらず品質が安定しているところだ！今回プラド訪問の後、時間があつたので軽くサンテミリオンの街を散策してみたが、改めてワインの価格の高さに驚いてしまった！

40年以上ボルドーを見続けているベルナルが言うには、ボルドーは一時のバブルがはじけたといっても、まだまだワインは投機対象として機能しているとのそだ。彼曰く、4年前に彼の畑のすぐ近くに女性オーナーが新しく畑とシャトーを購入しワインづくりを始めたのだが、彼女のワインは同じカスティヨンのACコート・ド・ボルドーなのに驚くべき値段で売られているそだ！新樽100%で熟成されているようだが、その一方で、ワインが高価な割に実際の畑の管理はものすごくずさんで、誰もまともに管理をしていないためミルデューやオイディウムが常に畑に蔓延しているようで、隣人であるベルナルは病気のおおりを直接受けるため、きちんと畑を管理するよう彼女に懇願するのだが、彼女は普段フランスに住んでおらず、ほとんどコンタクトが取れないようだ。結果、病気の蔓延を防ぐために2年前から彼の畑に隣接する彼女の2ヘクタール分の畑も一緒に散布を行っているとのこと…。長年ボルドーで地道にワインづくりを行っている決して裕福ではないベルナルが、マーケットでワインを動かしている新富裕層の畑を自分の畑を守るためとはいえ無償で管理している話を聞いて、啞然としてしまった…。

今も変わらず低価格でコストパフォーマンスの高いワインを提供し続けているプラドにはインポーターとしてとても感謝している。我々も、彼のような誠実で素晴らしいワインを造るヴィニョロンがきちんと評価されるよう、より一層彼の魅力を伝える努力をしなければならないと切に思った今日この頃だ！

(2016.8.24.ドメーヌ突撃訪問より)